

歩いても楽しめる湯村温泉街に 開湯1200年の歴史と地域環境を活かす

湯村温泉は、開湯1200年の歴史ある温泉です。大同3年(西暦808年)に弘法大師が東北巡行の帰りにこの地を訪れた際、杖で地面を突くとそこから温泉が湧き、これが湯村温泉の始まりと言われていました。また、武田信玄がこの温泉で傷や疲れを癒したとも言われている他、太宰治など多くの文学者にも愛されていました。こうした歴史ある湯村温泉



開湯1200年の「湯村温泉郷」

には、県外からも多くの観光客が宿泊し疲れを癒しています。

組合では、地域や外部団体との共催で「武田の杜トレイルランニング」や「湯

村ふるさとまつり」を実施し、地域活動への貢献を通じた宿泊客の増加等にも取り組んでいます。また、集客事業としてホームページをリニューアルし、周辺観光情報の発信や宿泊案内等を行っています。

その他、湯村温泉街には喫茶店や食堂もあり、温泉に入るだけでなく温泉街を散策し楽しむ環境を整え「歩いて楽しむ湯村温泉街」を体験してもらうために「街歩きマップ」も作成し、皆様に愛される温泉街を目指している。

笹本理事長は、「1200年という歴史がある湯村温泉郷、たくさんの方に愛されてきた湯村温泉をこれからも大切に守っていくため、組合としてイベント等の開催やPR活動を行っていきます。今後は、温泉郷一帯を散策しながら楽しめる街として、遊びにお越しいただいた方に『温泉公園』のような感覚で楽しんでもらえるような街作りを目指していきたいと



湯村温泉旅館協同組合ホームページ

と思っています。甲府駅から近く立ち寄りやすい温泉街なので気軽に立ち寄っていただきたいと思います。是非、湯村温泉に遊びにお越しくください。」と湯村温泉街の今後の方向について語ってくれた。